

記録
フィルム
カラー／36分

■企画
(財) ポーラ伝統文化
振興財団

■監修
本田安次
■取材協力
岩手県衣川村
衣川村教育委員会
岩手県教育委員会
盛岡市教育委員会
北上市教育委員会
衣川川西大念仏剣舞
保存会 岩崎鬼剣舞
保存会 上鹿妻念仏
剣舞連中 盛岡市都
南歴史民俗資料館
中尊寺 北上市立鬼
の館 平泉文化史館
関根太鼓店

スタッフ

■製作
村山和雄
■脚本・演出
村山正実
■撮影
村山和雄
■照明
水村富雄
本橋俊男
■タイトル
菁映社
■編集
吉田栄子
■ネガ編集
守随房子
■選曲
山崎 宏
■録音スタジオ
アオイスタジオ
■現像
ソニーPCL
■解説
加賀美幸子

文部省選定 1996年度文化庁優秀映画作品賞 優秀映画鑑賞会推薦

岩手県北上川流域の中部から南部にかけて伝承されてきた鬼剣舞（おにけんばい）とその剣舞の里に育まれる風土を記録した。保存会の人たちが地元の小学生に剣舞を継承させようとする努力が、四季の美しさの中に描かれる。



岩手県北上市和賀町岩崎・滑田、胆沢郡胆沢町朴ノ木沢、衣川村の4つの地域の鬼剣舞は、1993年（平成5年）、国の重要無形文化財に指定された。

4つのうち、衣川村川西の佐藤家は、昔から農業を営む傍ら、剣舞の芸能一団を率いる庭元（にわもと）を代々継いでいる。鬼剣舞は、約500年も前から口伝により伝承されてきたといわれ、大正時代には先代が文字で詳しく書き記した。それは、地元の歴史を絶やしたくないとの思いからだ。

今、川西の剣舞のメンバーは14人、職業は様々。衣川村にある衣里（ころもさと）小学校では、地元に伝わるこの念仏剣舞を後世に伝えようと、7年前から伝承活動に取り組み保存会の人たちが交替で、太鼓の拍子を口ずさみながら、口伝えで子供たちに踊りを教えている。また子供たちに剣舞の歴史と先祖の心を知ってもらいたいと、剣舞ゆかりの地を歩く史跡見学も始まった。

11月3日、中尊寺の秋の藤原まつりの日。この日、寺の宿坊では、初めて剣舞の衣装を着ける子供たちの緊張した顔がある。子供たちは新しい鬼の面を付け、庭元（一座の座元）の力強い太鼓と掛け声とともに、元気いっぱい踊り出す。